

# 「科学博物館で学ぶ」

担当教員名 谷本 勉

## コース概要

日程	2018年8月～9月
場所	関東地方の科学博物館等
参加人数	18人

## コースのねらい

関東地方の博物館を環境問題等を学ぶための現場（フィールド）として自在に使いこなし、生涯学習の場となるようにすることを目的とします。

## 内容

「科学博物館で学ぶ」は、グループ学習ではなく、個人参加を原則とします。参加者がそれぞれ立案した計画に従って学習していきます。具体的には、各地の科学博物館でどのような参加型の企画・セミナーが行われているかを調べ、参加するイベントを決定し、学習していきます。

例年6月中旬の土曜日の午後、最初の説明会を行います。この説明会にはできるだけ希望者全員の参加を認めています。ここで詳細な実施要領を解説します。その後、できるだけ夏期休暇に入る前に学習計画書を作成し、担当教員と相談しながら、参加する学習内容についての理解を深めます。

学習計画に際しては、1つのテーマが4時間以上のものを1日分の学習として認め、それ以下のものを半日分として、合計4日分の学習をすることを義務づけています。多くの場合8月中の土・日を何度か使うことになり、夏期休暇の他の計画との折り合いをつけることが重要になります。

今年の主な参加企画には次のようなものがあります。

8月4日「国立科学博物館附属自然教育園」：学習のテーマ「菌類学入門」

8月25日「神奈川県立生命の星・地球博物館」：学習のテーマ「岩石プレパラートの製作と観察講座」

8月24日「埼玉県立自然の博物館」：学習のテーマ「SLミュージアムトレイン」

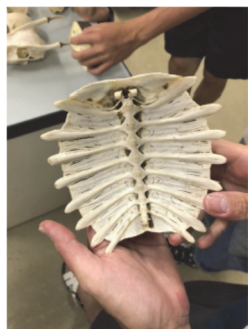
8月1日「国立科学博物館」：学習のテーマ「火星大接近特別観望会」

9月1日「千葉県立中央博物館」：学習のテーマ「古脊椎動物学入門」

9月2日「東京都環境公社」：学習のテーマ「里山へGo」

## 学習を終えて

「今回は、今までのFSで興味を持った分野についてより詳しく学べただけではなく、実際に骨格標本が作れるなど、座学では学べないことが経験できた。このことにより、理解が深まり学習意欲が更に沸いた。だから、授業とは関係なくても自分で講座を申し込んでさらに学習を重ねより深い知識を身に着けたいと感じた。」（「古脊椎動物学入門」参加者）



カメの甲羅の裏側(9月1日)



根性菌糸束(山姥の髪の毛)(8月4日)



両引き鋸「重かった」(9月2日)